霞北水産だより

第６１号
令和6年4月1日発行
【発行者】
霞ヶ浦北浦水産振興協議会
【事務局】
土浦市真鍋5丁目17番26号
TEL 029-822-7285
(茨城県霞ケ浦北浦水産事務所内)

表紙写真提供：霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

14 海の豊かさを守ろう

霞ヶ浦北浦水産振興協議会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

目　次

この一年の話題・・・ P． 2
令和５年７月～12月のトロール漁模様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P． 4
県の取り組む霞ヶ浦北浦の漁業振興策について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P． 6
霞ケ浦北浦海区漁業調整委員会・茨城県海面利用協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P． 8
受賞おめでとうございます！～令和５年度茨城県水産製品品評会～・・・・・・・・・ P． 8
資源利用協議会の開催とワカサギ資源保護の取組について・・・・・・・・・・・・・・・・・ P．10
水上バイク等の利用者向けの注意喚起について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P．10
【お知らせ】
・漁業権一斉切替について・・・ P．11
・知事許可漁業の申請手続について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P．11
・漁船検認に関するお知らせ事項・・ P．11
・水産物における放射性物質の検査結果等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P．12
・令和６年度 茨城県水産機関担当者一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P．12

この一年の話題

令和５年６月

霞ヶ浦北浦水産振興協議会
第６６回総会

６月 27 日に行方市の茨城県鹿行生涯学習センターレイクエコーにて、当協議会の令和５年度第 66 回通常総会が開催され、会長の鈴木行方市長が議長となって審議が行われました。議案については、全て承認されました。

また、役員の改選が行われ、新役員が選出されるとともに、会長には引き続き、鈴木行方市長が選出されました。

令和５年６月

ワカサギ、シラウオ販売促進
ポスター・チラシの作成・配布

霞ヶ浦北浦では、魚を獲るだけでなく、資源を守りながら、水産物を持続可能な方法で利用しています。

当協議会では、このような SDG s（持続可能な開発目標）の趣旨に基づいて漁獲されたワカサギ、シラウオの販売を促進するため、周年利用可能なポスター・チラシを作成し、地元水産物を取り扱う販売店や飲食店に配布しました。

販売促進用ポスター・チラシ

令和５年７月

「コイするメンチカツ」販売開始

７月１日、全国１位の生産量を誇る霞ヶ浦の養殖コイを使ったメンチカツが、かすみがうら市交流センターで販売開始されました。

このメンチカツは霞ヶ浦漁業協同組合の養殖加工部を中心に、県内の惣菜製造会社と連携して開発されたものです。販売に先立ち、霞ヶ浦周辺の小中学校等の給食に提供され、多くの児童・生徒の皆さんに「美味しい！」と評価されました。また、給食で食べた児童のアンケートから着想し、「コイするメンチカツ」と命名されました。

コイの淡白な味わいと、蓮根のシャキシャキとした食感が特徴です。

コイするメンチカツハンバーガー

令和５年７月

ワカサギ漁解禁

７月 21 日、霞ヶ浦北浦においてワカサギ漁が解禁となり、123 隻（霞ヶ浦 107 隻、北浦 16 隻）が出漁しました。

解禁日における一隻あたりの水揚量は、霞ヶ浦では平均 9.8kg（前年 18.6kg）、北浦では平均 4.5kg（前年 2.3kg）となりました。魚体の全長は、霞ヶ浦では約 6.5cm、北浦では約 6.7cm であり、いずれも前年よりも大きく過去 10 年の平均並みでした。漁師の方からは「数は少ないが、大きさは良い」と前向きなコメントを頂きました。

漁獲されたワカサギ

令和５年１１月

水産製品品評会開催

令和５年度茨城県水産製品品評会が 11 月８日、すいさん会館（水戸市三の丸）にて開催されました（茨城県水産物開発普及協会主催、茨城県後援）。この品評会は、本県水産加工業の発展と水産製品の品質向上を図るため毎年開催されているもので、霞ヶ浦北浦部門の出品数は 250 点でした。今年の特徴としては、新しい加工技術の開発に取り組んでいる商品が多く見られました。また、主要魚種の資源減少などを起因とし、複数の原料を組み合わせた製品を考案するなど、原料の確保にも工夫を凝らした製品が見受けられました。（８～９ページに記事あり）

令和５年１１月

霞ヶ浦北浦水産振興協議会担当者会議

11 月 29 日に茨城県鹿行生涯学習センターレイクエコーにて当協議会の担当者会議が開催されました。

県からは今期の漁模様のほか、漁業振興策の進捗状況について情報提供が行われました。

令和６年１月～２月

漁業者による湖岸パトロール活動

茨城県では、産卵期のワカサギ保護のため、１月 21 日から２月末日までワカサギの採捕が禁止されています。湖岸で釣りを楽しむ遊漁者に釣りのルールを周知するため、漁業者が霞ヶ浦北浦の湖岸をパトロールし、船溜等へポスターを掲示したほか、採捕禁止を知らせるリーフレットを遊漁者 100 名以上に配布し、ワカサギの採捕禁止期間を案内しました。

ワカサギ採捕禁止を知らせるリーフレット

令和５年１２月～令和６年３月

ワカサギ人工ふ化放流事業

霞ヶ浦漁協（８支部）では 12 月 16 日から３月 24 日にかけて、ワカサギの人工ふ化放流事業を行い、約 260 万粒を採卵しましたが、きたうら広域漁協（２支部）及び麻生漁協では、親魚が採捕できず、採卵放流ができませんでした。

近年では北浦のみならず、霞ヶ浦においてもワカサギ資源が減少し、厳しい状況となっていますが、ワカサギ資源を守るため、漁業者による取組が毎年続けられています。

令和５年７月～12 月のトロール漁模様

茨城県水産試験場
内水面支場

霞ヶ浦北浦の漁業者のトロール漁業の操業日誌や水揚の聞き取り情報を基に漁模様をまとめました。

霞ヶ浦では、ワカサギ漁に加え前年まで好調だったシラウオ漁も減少となりましたが、テナガエビ漁は増加しました。北浦では５年連続で３魚種とも不漁となりましたが、テナガエビ漁は若干の増加となりました。

１　霞ヶ浦

（１）ワカサギ

ワカサギ漁を営んだ船の１隻１時間当たりの月別平均漁獲量（以下、「CPUE」と記載する）は、７月が 8.5 kg/隻・時間で、８月が 4.9 kg/隻・時間となり（前年の令和４年は７月が 17.0 kg/隻・時間、８月が 22.0 kg/隻・時間）、８月後半以降はシラウオ狙いの操業となりました。また、12 月のワカサギの CPUE はその冬の産卵親魚量の指標となりますが、令和５年は 0.3kg/隻・時間と低い水準になりました（図１（１））。資源の水準が非常に低いことから、前年に引き続き、漁業者の協議により、トロール漁業による 12 月の親魚を獲り控える取り組みが行われました。

（２）シラウオ

令和５年はワカサギ漁が低迷したため、８月後半以降は主にシラウオを狙った操業となりました。シラウオ漁の CPUE は 9.3～19.3kg/隻・時間で推移し、過去２年と比べると期間を通して低い値となりました（図１（２））。シラウオの CPUE は３年連続で減少していることから、漁業者の協議により、トロール漁による 12 月の親魚を獲り控える取り組みが行われました。ワカサギ同様、産卵親魚が少なくならないよう資源の動向に注意していく必要があります。

（３）テナガエビ

テナガエビ漁は９月中旬から始まり、CPUE は９月が 94.3kg/隻・時間、10 月が 30.0kg/隻・時間で推移しました（図１（３））。その後は漁業者の協議により、テナガエビ漁は 10 月初旬までの短期間で終漁となりまし

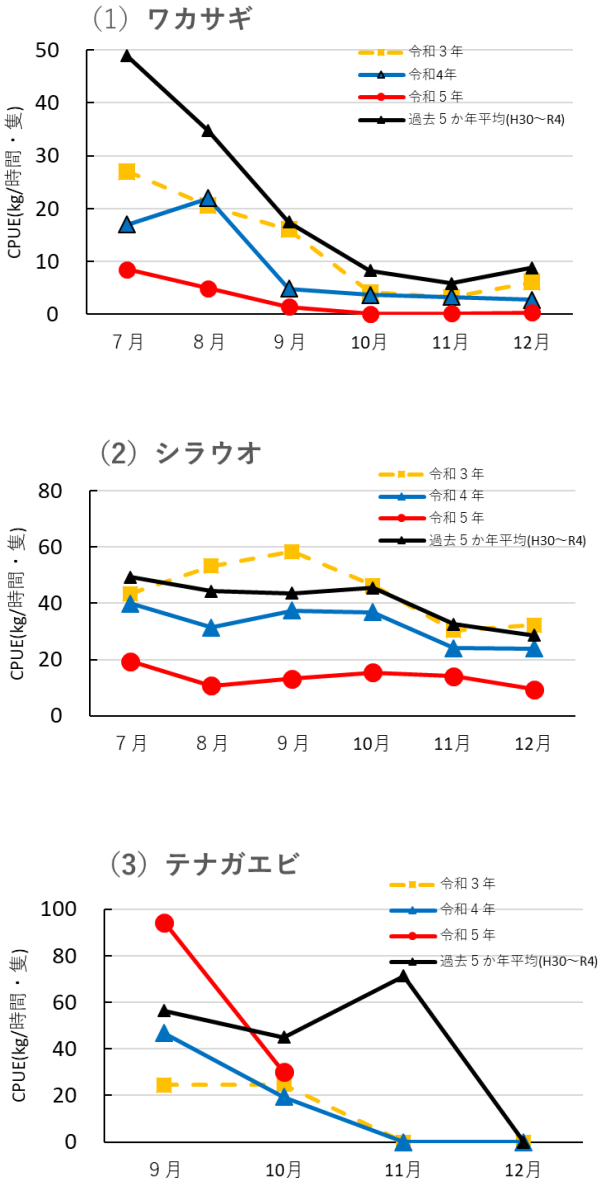

図１　霞ヶ浦における１隻１時間あたりの月別平均漁獲量（kg/隻･時間）

た。漁期が短く、10 月の CPUE が前５年平均の７割と低かったものの、９月の CPUE が平成 30 年以来の高い値であったため、令和５年のエビ漁は久々の好漁となりました。

２　北浦

令和元年以降、ワカサギ、シラウオ、テナガエビといった主要魚種の漁獲量が減少し、その傾向は令和５年も続きました。このような状況の中、令和５年はテナガエビの漁獲が若干ですが増加しました。

（1）ワカサギ

ワカサギ漁の CPUE は、７月が 2.7 kg/隻・時間と前年（令和元年：1.6kg/隻・時間）並みでしたが、９月以降ほとんど網に入らない状況となりました（図２（1））。

（2）シラウオ

シラウオ漁の CPUE は７、８月に 5～6kg/隻・時間と前年を上回りましたが、９月以降減少し、漁期の後半には令和３・４年の CPUE よりも低く推移しました（図２（2））。

（3）テナガエビ

テナガエビ漁は８月から９月下旬にかけて行われ、CPUE は８月が 16.7kg/隻・時間、９月が 9.7kg/隻・時間で推移しました（図２（3））。これは令和元年～４年の CPUE よりも高い値ですが、平成 30 年以前の水準には及ばず、依然として資源水準が低い状況が継続しています。

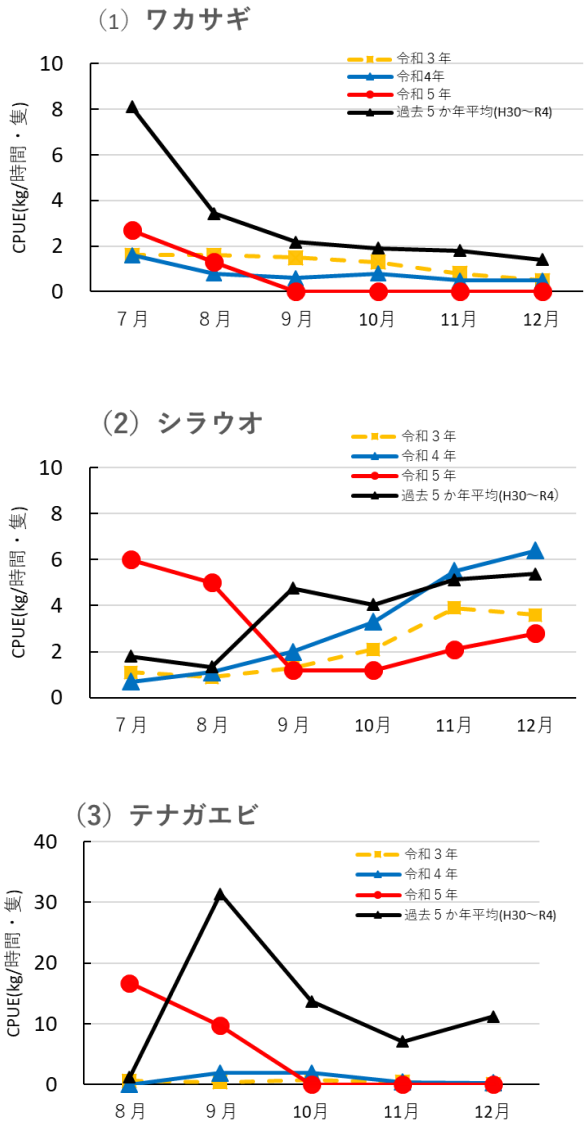

図２　北浦における１隻１時間あたりの平均漁獲量（kg/隻･時間）

県が取り組む霞ヶ浦北浦の漁業振興策について

茨城県霞ケ浦北浦水産事務所　振興課

霞ヶ浦北浦では、令和６年度に次表に掲げた事業に取り組みます。これらのうち、令和５年度から新たに取り組んだ項目について、進捗とこれから取り組む内容をご紹介します。

①　霞ヶ浦北浦主要水産物の生態に及ぼす影響解明研究事業費

主要水産物の生態に影響を及ぼしている要因を評価・解明するため、ワカサギ等の餌料生物の発生量モニタリングや成長解析、魚類相の調査等を行いました。令和６年度も引き続き調査や分析、解析を進め、影響を及ぼす要因を検証します。

②　霞ヶ浦北浦産シラウオのトップブランド化

水産試験場が考案した獲れたての透明感と鮮度を保持する方法で取り扱ったシラウオを商品化し、都内高級飲食店等へサンプルを配布し、高評価を得ました。令和６年度はブランドのプレスリリースを行うとともに広告・PR に取り組みます。

③　未利用魚有効活用促進事業

ハクレン等未利用魚の飼肥料原料としての活用について検討するため、魚粉化し成分分析を行うとともに、需要調査を実施しました。令和６年度は、更なる活用方法として食用利用の可能性を検証するため、一次加工品の試作や求評等を実施します。

④　内水面資源動態研究費

ウナギ資源の増大に向けて、常陸川水門上流への効果的な遡上拡大方法を検討するための試験を実施しました。令和６年度も引き続き、シラスウナギの遡上拡大方法を検討するための試験を行います。

常陸川水門船通閘門試験の様子

⑤　茨城県養殖参入支援事業

養殖による漁業経営の安定化等を目的に、霞ヶ浦北浦では新たにテナガエビの養殖技術開発に取り組む漁業者に対し、スタート経費の一部を助成しました。令和６年度についても引き続き、新規の養殖や畜養の取り組みのほか、新魚種や ICT を取り入れるなど事業拡大を図るための取り組み等について支援を行います。

⑥　コイ養殖餌料価格高騰緊急対策事業

配合餌料価格の急激な高騰の影響を受けている養殖業者に対し、配合飼料の購入費用の一部を補助しました。令和６年度も引き続き支援を行います。

■ 令和６年度に取り組む霞ヶ浦北浦の漁業振興策

項目	事業名等 （ 拡）は拡充事業　）	予算額 （千円）	内容
1　主要魚種の資源回復対策			
（１）資源増大対策			
	ワカサギ人工ふ化事業 （水産振興協議会予算）	3,281 （うち一部）	霞ヶ浦北浦において漁業者が実施するわかさぎ人工ふ化事業に助成。
（２）漁場環境の改善			
	漁場環境保全創造事業費	94,000	水生植物帯造成による湖岸環境の再生。
		55,000	既存の水生植物帯施設の機能保全工事。
	漁業による水質浄化機能促進事業	15,475	未利用魚の回収による湖内からの栄養塩の除去。
	前浜の造成 （国交省・水資源機構）	—	湖岸域への養浜による前浜の造成。
（３）不漁要因に関する研究			
	霞ケ浦北浦主要水産物の生態に及ぼす影響解明研究事業費	2,782	主要水産物の生態に影響を与えている要因の評価・解明。
2　環境変動に左右されない収益源の創出			
（１）水産物の付加価値向上対策			
	県産シラス競争力強化対策事業のうち「霞ヶ浦北浦産シラウオのトップブランド化」	3,000	ブランドプレスリリースに併せた広告・PR 等。
	未利用魚有効活用促進事業	9,769	食用利用促進のための一次加工品等の試作、求評等。
（２）天然ウナギ資源の増大対策			
	内水面資源動態研究費	2,422 （うち一部）	常陸川水門におけるシラスウナギ遡上拡大試験。
	水産多面的機能発揮対策事業	8,529 （ウナギ 5,440）	霞ヶ浦北浦における魚介類（ウナギ）の放流。
（３）新たな増養殖魚種の導入対策			
	拡）茨城県養殖参入支援事業	29,000	「養殖や畜養に取り組むための経費」等への補助。
3　その他の対策			
（１）コイ養殖業の振興			
	拡）コイ養殖餌料価格高騰緊急対策事業（R5 補正）	29,661	コイ養殖餌料価格高騰に対する助成。
	増養殖魚種調査検討費	1,018 （うち一部）	養殖コイの性成熟コントロール技術等の開発。
（２）新規就業者対策			
	拡）経営体育成総合支援事業	2,223 （予定）	就業希望者の漁業現場での長期研修を支援。

霞ケ浦北浦海区漁業調整委員会・茨城県海面利用協議会

霞ケ浦北浦海区漁業調整委員会事務局

◆第 22 期霞ケ浦北浦海区漁業調整委員会

令和５年度は、４月21日の第552回委員会から２月15日の第559回委員会まで計８回開催され、張網漁業及び真珠養殖業、小割式養殖業の漁業権免許の一斉切替等について、協議や意見交換が行われました。

また、第557回委員会終了後には、霞ヶ浦導水工事事務所高浜機場建設予定地において、４年ぶりとなる視察研修が開催され、霞ヶ浦導水事業の計画と進捗状況について把握しました。

第22期霞ケ浦北浦海区漁業調整委員会委員（議席順）

漁業者委員	◎鈴木　幸雄	漁業者委員	理﨑　茂男
漁業者委員	○海老澤武美	学識経験委員	太田　牧人
漁業者委員	大﨑　　匠	漁業者委員	鬼沢　弘明
中 立 委 員	相﨑　守弘	漁業者委員	中泉　義美
漁業者委員	薄井　征記	漁業者委員	小原　一八
中 立 委 員	鈴木　友子	学識経験委員	加納　光樹

◎＝会長　○＝会長代理

◆第15期茨城県海面利用協議会

令和５年度は、10月５日に開催され、霞ヶ浦北浦における湖面利用に関する課題への対応や漁業と遊漁等の現状等に関する協議が行われました。

第15期茨城県海面利用協議会 霞ケ浦北浦海区部会委員（議席順）

学識経験	◎野内　孝則	漁業関係	伊藤　義男	遊漁関係	三村　陽子
学識経験	○代々城 貴彦	漁業関係	菅谷　美尚		
遊漁関係	赤津　友海	海洋性レク関係	髙野　利夫		

◎＝部会長　○＝部会長代理

受賞おめでとうございます!!

～令和５年度 茨城県水産製品品評会～

令和５年11月８日に開催された令和５年度茨城県水産製品品評会において、数多くの出品の中から農林水産大臣賞を受賞したのは、霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合かすみがうら市支部の小沼水産㈱の「小えび甘露煮」です。代替品のない希少な原料である霞ヶ浦産の小型のテナガエビ、通称ザザエビを原料としています。原料は代々漁業者と築いてきた信頼関係を活かし、水揚げ後に直ちに集荷、加工する体制を整えたことで、最高の鮮度を保っています。味はもちろん見た目にも鮮やか、艶やかで美しく、特に目を引く一品に仕上げられています。表彰式は令和５年12月６日、水戸プラザホテルにおいて行われ、賞状と記念品が授与されました。

品評会の様子

なお、各賞の受賞者は次ページ一覧表のとおりです。

令和５年度茨城県水産製品品評会受賞者名簿（霞ヶ浦北浦部門）

区分	品名	受賞者名	支部名
農林水産大臣賞	小えび甘露煮	小沼水産（株）	かすみがうら市
水産庁長官賞	わかさぎ甘露煮	髙須水産　髙須 耕一	湖　南
	若さぎ佃煮	海老澤商店　海老澤 正之	北　浦
茨城県知事賞	えび佃煮	（株）出羽屋	かすみがうら市
	わかさぎ甘露煮	さくらや本店　桜井　千章	霞ヶ浦
	わかさぎ甘露煮	（有）田中屋川魚店	土　浦
茨城県議会議長賞	海老佃煮（甘口）	永作光商店　永作　行伸	霞ヶ浦
大日本水産会長賞	あさり佃煮	相川水産	北　浦
全国水産加工業協同組合連合会長賞	えび佃煮	（有）増田　増田 清治	霞ヶ浦
茨城県農林水産部長賞	わかさぎ佃煮	（株）中村商店	かすみがうら市
	小海老佃煮	篠塚商店　篠塚 行雄	霞ヶ浦
	あみ佃煮	辺田商店　邉田 和夫	北　浦
	しじみしぐれ煮	小松屋食品（株）	土　浦
茨城県加工連会長賞	わかさぎ甘露煮	貝塚忠三郎商店	かすみがうら市
	わかさぎ佃煮	伊藤水産　伊藤千勝	霞ヶ浦
	くるみ白魚	山澤水産	北　浦
	若さぎ甘露煮	（有）富田商店	湖　南
霞ヶ浦北浦水産振興協議会長賞	あみ佃煮	ツカサ食品（株）	かすみがうら市
	白魚煮	大輪水産　大輪 茂七	霞ヶ浦
	はぜ佃煮	辺田商店　辺田 清孝	北　浦
	はぜ佃煮	山下川魚店　山下 一夫	湖　南
	白魚佃煮	箕輪名産店	土　浦
茨城県水産物開発普及協会長賞	霞ヶ浦産　白魚佃煮	（株）島田商店	かすみがうら市
	あさり佃煮	河野水産	北　浦

農林水産大臣賞「小えび甘露煮」

小沼水産㈱　小沼　和幸 氏

資源利用協議会の開催とワカサギ資源保護の取組について

茨城県霞ケ浦北浦水産事務所　漁業調整課

令和５年の霞ヶ浦地区におけるトロール漁（わかさぎ・しらうおひき網漁業）は、ワカサギが大変な不漁となり、シラウオも漁獲量が前年の半分以下にまで減少するような状況となりました。

このため、漁業関係者は昨年に引続き、令和５年11月14日に資源利用協議会を開催し、今後のワカサギ、シラウオの資源の利用の仕方について協議しました。

協議の結果、ワカサギ、シラウオの親資源を少しでも多く残すよう、11月30日から12月31日までの間、トロール漁において、ワカサギの主な遊泳層を曳く底層びき（着底びき）を自粛することとしました。またシラウオについては、12月期のシラウオの共同出荷（組合出荷事業）を行わないこととしました。

また、ワカサギ、シラウオ資源を持続的に利用していくためには、今回のような取り組みを今後も継続することが重要であるとの認識が共有されました。

水上バイク等の利用者向けの注意喚起について

茨城県霞ケ浦北浦水産事務所　漁業調整課

県では、霞ヶ浦北浦における水上バイク及びバスボート利用者向けに漁具や漁船との接触による事故の未然防止のため、チラシ（「～水上バイク、バスボートを安全に楽しむために～漁具・漁船に近づかないで！」）を作成し、注意喚起に努めています。チラシは、霞ケ浦北浦水産事務所のホームページからダウンロードできますので、ご不明な点は水産事務所までお問い合わせ下さい。

（表面）

（裏面）

お知らせ

茨城県霞ケ浦北浦水産事務所 漁業調整課

漁業権一斉切替について

令和６年８月 31 日に免許期間満了を迎え、一斉切替となる第１種区画漁業権（小割式養殖業）の免許申請期間は、令和６年５月 31 日から同年７月 31 日までとなりますので、申請予定の漁協においては期間内の申請にご留意ください。

知事許可漁業の申請手続について

令和６年度は有効期間の満了に伴う知事許可漁業の一斉更新はありません。また、県では一斉更新に限らず、新規着業や漁業経営の多角化に向けた新たな許可申請の希望に対し、毎年１回程度の許可の発給を行っています。着業等に伴う新たな知事許可漁業の申請希望につきましては、各所属の漁協にお問い合わせください。

表　知事許可漁業の有効期間

漁業種類	許可有効期間
いさざ・ごろひき網	令和３年３月１日～令和８年２月 28 日
しらうおさし網	令和３年９月１日～令和８年８月 31 日
雑魚さし網	令和４年１月１日～令和８年 12 月 31 日
つけ	令和４年３月 25 日～令和９年３月 24 日
わかさぎ・しらうおひき網	令和４年７月 21 日～令和９年７月 20 日
ます網	令和４年７月 28 日～令和９年７月 27 日

漁船検認に関するお知らせ事項

●漁船検認とは･･･

漁船検認とは、漁船法第 13 条の規定に基づき、漁船登録票の記載内容と実際の漁船が一致しているか定期的（５年ごと）に検査を受けるもので、以下の(1)～(3)に不備があると受検できませんのでご注意願います。

(1) 漁船登録票（登録票が見つからない場合、所有者・使用者の住所氏名等に変更がある場合、機関換装を行った後に登録変更をしていない場合は、受検に間に合うよう登録票の再交付や変更登録を済ませておいてください。）

(2) 推進機関（盗難防止等のために船外機を取り外してある場合は受検場所まで持って来てください。また、船内機船・船内外機船は、当日機関室の中を確認できるようにしておいてください。）

(3) 漁船登録番号および船名の表示（かすれて見えないような場合は、はっきり見えるようにしておいてください。）

なお、船体の破損や著しい劣化により使用不可能と判断される場合は検認を受けられませんので、適正な措置（修繕若しくは登録抹消手続）を行ってください。

●令和６年度の漁船検認について

令和６年度の実施予定は 110 隻で、令和元年度に検認または漁船登録を行った漁船が対象となります。

検認の時期等につきましては、所属漁協を通じてお知らせいたしますので、受検漏れが発生しないようご協力をお願いいたします。

水産物における放射性物質の検査結果等について

令和６年４月１日現在

品目名		採取水域	令和５年度検査結果 (Bq/kg)					令和４年度検査結果 (Bq/kg)			
			検体数	平均	最大（採取日）		最小	検体数	平均	最大	最小
天然	アメリカナナズ	西浦	2	18	18	5/31	18	4	18	24	13
		北浦	2	15	17	4/3	13	3	16	19	13
	ウナギ	西浦	1	3.2	3.2	7/5	3.2	1	N.D.	N.D.	N.D.
	ギンブナ	北浦						1	13	13	13
	ゲンゴロウブナ	北浦						1	9	9	9
	ワカサギ	西浦	4	6.4	7.6	7/5	5.7	4	5.0	8.6	N.D.
		北浦	1	8.0	8.0	6/28	8.0	1	5.4	5.4	5.4
	シラウオ	西浦	1	6.1	6.1	10/26	6.1	1	N.D.	N.D.	N.D.
		北浦	1	3.8	3.8	6/28	3.8				
	テナガエビ	西浦	4	2.0	8.3	8/23	N.D.	4	2.0	8	N.D.
		北浦	1	N.D.	N.D.	9/4	N.D.				
	ヌマチチブ	西浦	1	4.4	4.4	7/5	4.4				
	イサザアミ	西浦	1	N.D.	N.D.	6/15	N.D.	1	4.8	4.8	4.8
	モクズガニ	北浦						1	N.D.	N.D.	N.D.
養殖	アメリカナナズ	西浦	1	N.D.	N.D.	3/3	N.D.	1	8	8	8
	コイ	西浦	1	N.D.	N.D.	3/4	N.D.	1	N.D.	N.D.	N.D.
		北浦	1	N.D.	N.D.	3/4	N.D.	1	N.D.	N.D.	N.D.

注）N.D.：検出限界値未満
　　北浦：外浪逆浦を含む

令和６年度　茨城県水産機関担当者一覧（所属長等）

所属組織名称	役職名	氏　名
霞ケ浦北浦水産事務所	所　長	高橋　正和(新)
	漁業調整課長	横山　耕平(新)
	主査兼振興課長	半澤　浩美
	主査兼指導課長	杉浦　仁治(新)
	支所長	星野　尚重(新)
水産試験場内水面支場	技佐兼支場長	根本　孝
	内水面資源部長	小日向　寿夫
	増養殖部長	丹羽　晋太郎
霞ケ浦北浦海区漁業調整委員会	技佐兼事務局長	根本　隆夫